

令和2年度ノリ養殖概況

仲村尚人*・小野博行*

養殖環境 漁期中の岡山市における降水量の推移を図1に示した。10月は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、平年より多かった。11, 12月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、平年より少なかった。1月は中旬から下旬にかけて数日の周期で天気に変化し、平年より多かった。2, 3月は、晴れた日が多く、平年より少なかった。

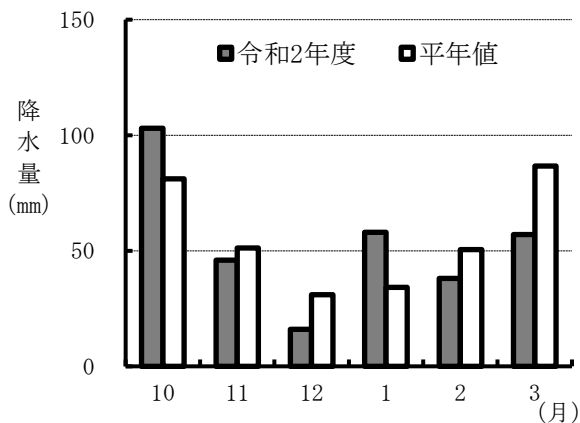


図1 令和2年度漁期月別降水量の推移 (岡山地方気象台)

牛窓沖水深2m層における日平均水温の推移を図2に示した。水温は10月18日に育苗開始の目安となる23℃を下回った。その後、11月中旬から12月中旬にかけて平年値を1℃以上上回る日が多かったが、1月には平年値を1℃以上下回る日も見られた。2月以降は再び平年値を上回った。



図2 令和2年度漁期牛窓沖水温の推移

漁期中のノリ養殖漁場における溶存態無機窒素濃度(DIN)の推移を図3に示した。11月にかけて *Coscinodiscus* 属の増殖により一時的に2μMを下回ったものの、概ね6μM以上で推移した。12月以降は *Chaetoceros* 属等の小型珪藻が増加し、1月には0.9μMまで減少した。降雨により一時的に2.3μMまで増加したものの、その後は漁期終了まで1μM前後で推移した。*Eucampia* 属は2月上旬に増加し、最大35万 cells/Lの海域も見られた。

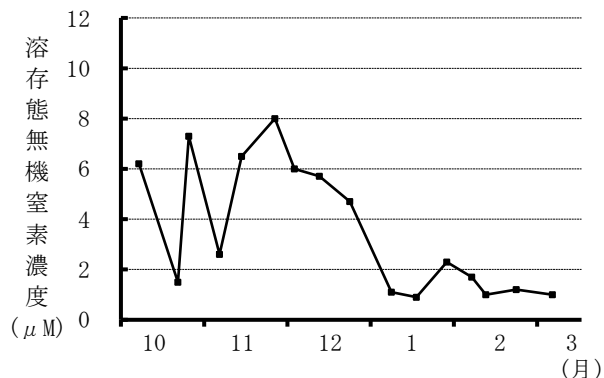


図3 令和2年度漁期溶存態無機窒素濃度の推移

養殖経過 漁期中のノリ養殖状況について、漁業者に聞き取り調査を行った。

育苗は、多くの漁場で10月25日前後の開始となり、育苗当初は網の汚れも目立ったが、概ね順調に経過した。

本張りは、11月18日頃から順次開始された。水島および笠岡周辺では魚類による食害が原因と考えられるバリカン症様の症状が見られた。

生産は、笠岡周辺では11月下旬、犬島周辺では12月上旬、水島周辺では12月中旬から開始された。開始当初は品質の良いノリが生産されたが、12月下旬以降の急激な栄養塩濃度の低下により、各地で葉体の色調低下が発生した。特に顕著であった犬島周辺の一部漁場では1月下旬まで、笠岡周辺では2月下旬までに生産を終了した。

1月下旬にはまとまった降雨があり、栄養塩濃度が若

*岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課

干上昇したため色調は一時的に回復したが、その後再び栄養塩濃度が低下し、色調低下が続いた。犬島周辺および水島周辺では、3月中旬までに生産を終了した。

生産結果 生産枚数は水島周辺で生産が不調であつ

た昨年度並みの約1.5億枚（前年度比97.1%）となった。平均単価は、色調低下が続いた影響により8.38円（前年度差-3.99円）、生産金額は12.4億円（前年度比65.7%）とそれぞれ前年度を大きく下回った。